

私のすすめるこの1冊

伊藤 悦子 (教育学科 教授)

『友情の哲学 緩いつながりの思想』

藤野 寛 (著)

のっけから私事になるが、著者の藤野寛さんは大学時代の友人で(と私が思っている)、著書をガンガン執筆し、ドンドン送付してくる人である。『高校生と大学一年生のための倫理学講義』(2011)、『キルケゴール』(2014)、『ジェンダーにおける「承認」と「再分配」』(2015)、『友情の哲学』(2018)、『アドルノ美学解説』(2019)など、硬軟織り交ぜた著書があり、研究対象はキルケゴール、カント、ニーチェなどドイツ哲学の本流だ。哲学ができない私は数行でギブアップし、積読状態になっている本が多い。その中で『友情の哲学』を手にしたところ、想定外に「面白かった」(藤野さんごめんなさい)のでお勧めすることにした。

しかし、古臭い書名だ。「友情」?、21世紀に武者小路実篤か。せめて「トモダチ」ぐらいにしないと売れないんじゃないかと思う。ましてや、「哲学」に興味を持っている学生は、実践を重んじる我が京都教育大学にどのぐらいいるのか。せめて、この短文で興味を持ってもらえるよう、頑張りたい。

『友情の哲学』は第一部と第二部に分かれていて、第一部はまさに「哲学」の本で、「友情とはどのような一独特の一承認の形であるのか」を考察している。どうして、この間が設定されたかということ、「友情をめぐる二一世紀の現実」があるからだ。そこで第二部では、高齢化社会、セクシュアリティ、家族、ジェンダー、SNSをめぐる現実

における「友情」とは何かを追求している。「友情」を21世紀における「人間関係の在り方」に置き換えると、俄然、私の食指は動くのだが、第一部を読まないで第二部は理解できないので、みなさんも頑張って第一部を読んでみてほしい(ただし、カントの部分は今回も理解できていない)。

友情を定義するために選択されたのはアリストテレスである。友情は「良さ」「快さ」「有用さ」によってはぐくまれ、「本当の友情」「完全な友情」と質量が試される。友情の構成要素は「他者に惹かれること」「相手のために良かれと願うこと」「双方向的であること」「双方ともに気づいていること」である。

この後、「(なぜ)私たちは友達を必要とするのか」「友達を必要とするのは弱い人か」「友情はもっぱら倫理学の問題か」「友達は多ければよいのか」という問に対して、考察が進められる。この本をお勧めする理由の第一は、「友達」をめぐる私たちの迷い(問)に対して哲学で答えを提示してくれている点である。エッセイではない。そして逆に、「哲学」とは何か、「友情」という切り口で理解できるという点が、第二の理由である。文章は極めて平易で読みやすい。

SNSで承認欲求を満たすことに疑問を持っているアナタ、トモダチなんか要らないといじけているアナタ、じっくり考えられることが大学生の特権だ。この特権は貴重だ。ぜひ読んでみてください。

再開館後の図書館サービスについて

再開館後の図書館につきまして新型コロナウイルス感染防止対策を行っております。

○閲覧席の利用制限（1階、2階の閲覧席数半減、個人学習室利用中止）

○グループ用閲覧席の利用中止（ラーニングcommons、グローバルスクエア、グループ学習室）

○テーブル間の衝立設置（リフレッシュラウンジ）

○ビニールカーテン設置、ソーシャルディスタンスのためのサイン設置（カウンター・入退館ゲート）

○閲覧席、機器、カウンター周辺、入退館ゲート、ドアノブの消毒作業



利用される皆様には

○入退館時にはアルコールで手指などを消毒してください。

また、館内にも消毒用アルコールを設置しています。閲覧席や共用パソコンの利用前後など、必要に応じて各自で消毒を行ってください。

○こまめな手洗い、消毒、咳エチケット等にご協力をお願いします。

○密集・密接・密閉（3密）を避けるため、席は譲り合ってご利用いただき、不要不急の長時間の滞在は控えください。

今後、変更が生じた場合は、附属図書館ホームページにてお知らせします。

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

研修・セミナー室等の学生利用について

附属図書館は現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、館内のグループ学習利用を当面中止しており、研修・セミナー室等の利用は教職員の授業利用のみの利用としておりましたが、教員採用試験の模擬授業や模擬面接の練習場所として利用者から要望が寄せられたため、一部の制限を緩和します。

【利用可能な部屋】研修・セミナー室3 およびグループ学習室

【対象者】本学学生

【利用方法】前日（開館時間中）までにカウンターで申込
利用条件がありますので、カウンターで説明を受けてください。

熱中症予防行動について

○暑さを避けましょう。

感染症予防のため、換気扇や窓開放によって換気を確保しつつエアコンを作動します。貸出用扇風機もありますので、急に暑くなった日など熱中症に注意してご利用ください。

○こまめに水分補給しましょう。

1階、2階の一部はふた付き飲み物可（着席時のみ可。飲まない時はかばんに入れてください。）です。こまめに水分補給をしながらご利用ください。

講習会について

◆図書館ツアー

図書館全体をご案内します。これから本学の図書館を利用しようという方におすすめです。

もちろん在学生や、以前からいらっしゃる教職員の方々も、改めて図書館にどんな設備があるかを知ることとしてぜひお越しください。

また、OPACによる本の検索と館内での本の探し方を簡単に紹介します。

◆レポート・論文資料収集法【データベース検索編】・【日本語文献検索・入手編】

レポートや論文を書くためには、資料収集が重要です。図書館では様々なデータベースが利用可能で、必要な資料の種類に応じて使い分けることで、より質の高い情報が集められます。

本講座では、新聞や辞書等のデータベースを紹介する“データベース検索編”と、論文の入手方法を紹介する“文献検索・入手編”の2種類の講座を目的に応じて受講できます。両方受ければ様々な資料の収集に強くなれますし、時間が無ければより必要とするものだけ受講することも可能です。

Googleで大抵の情報は集められる時代だからこそ、信頼性の高い情報源から質の高い情報を収集する方法を身に着けませんか？

【日時】6月22日（月）～7月31日（金）
12:05～12:30（予約制）

【申込方法】希望日時、所属、氏名を明記の上
library@kyokyo-u.ac.jpまでご連絡ください。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、1講座3名程度までといたします。複数希望日をご入力ください。

京都教育大学
それはかなう夢講座

「先生になりたい - それはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。特に、小学校の先生になりたいと思っている学生の皆さんのご参加をお待ちしています。

第21回の報告

YouTubeで公開されました（現在も視聴できますのでどうぞ！）

<https://www.youtube.com/watch?v=V2ZxpfpXT3M>

【講師】鈴木祥子（理学科 准教授）

【テーマ】触媒ははたらきもの

第22回のお知らせ

【日時】8月中旬YouTube 公開予定

【場所】今回はYouTube 公開のみです

【講師】田中 多佳子（音楽科 教授）

【テーマ】音楽って何だろう

<概要>

音楽学とは「音楽」を研究対象とする学問分野の総称ですが、そもそも「音楽」って何でしょうか？「音を楽しむ」ことでも「音が苦」でも、また「人類の共通語」でもありません。「音楽」と“music”とは同じものをさすのでしょうか？学校の音楽の先生は絶対に触れない「音楽の定義」を、東西の歴史的事実をたどりつつ客観的に考えます。どんな教科や研究分野においても「わかったつもり」がもっとも危うい姿勢であることに気づきましょう。

主催：「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト委員会
後援：京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館



★ 日曜開館を実施します
試験期間前の日曜日（7月26日、8月2日）を9時から17時まで開館します。試験勉強などにぜひご利用ください！

★ リクエストと投票で話題の本を読もう！
皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画です！リクエストや投票にぜひ参加してください！
7月の投票期間は **2日（木）～18日（土）**

★ 夏季休業に伴う長期貸出について
学部生：7月25日（土）～9月19日（土）
院生・教職員：7月11日（土）～9月5日（土）
【返却期限日】10月5日（月）
※卒業・修了予定者は9月10日（木）まで

★ 学修相談カウンター
理数系の院生がいろいろな質問に対応してくれます。勉強や就職のこと、先輩に相談してみませんか？
7月3日（金）から再開します！



★ 保育士試験対策コーナー（報告）
保育士試験関連の図書を、南館1階 児童書コーナー付近に6月5日（金）～6月27日（土）まで展示しました。



児童書コーナー（南館1階）

幼児教育科主催
えほんのもり

学生による絵本のよみきかせ
＜前期は、おやすみです＞



今月の絵本カード（学生作）
『グリーンマントのピーマンマン』
作：さくら ともこ
絵：中村 景児
出版社：岩崎書店



※児童書コーナーに展示しています。他にも毎月かわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。

教育資料館 まなびの森ミュージアム

今月の逸品（6・7月）
「貝化石」
展示場所：図書館



教育資料館 まなびの森ミュージアム
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 原田 信一 (産業技術科学科 教授)

図画工作科におけるのこぎり指導の授業実践

原田信一・滝口幸一

京都教育大学紀要 2020, No.136, pp.71-80.

「ものづくり」は、子どもたちにどのような力を育むのでしょうか。

これまで小学校では、多くのものづくりの教育実践が取り組まれ、さまざまな教材が生み出されてきました。ものづくり教育の教材には、つくっておもしろい・楽しいということに留まらず、子どもの学びや教師の意図が込められています。

本研究は、小学校図画工作科と中学校技術科との接続に焦点を当て、道具・工具に着目した、図画工作科におけるのこぎり指導を取り入れた教材を開発しました。具体的には、既存の図画工作科の教材に「のこぎりの使用経験や技能の向上」、「工具を安全に取り扱うことへの意識の向上」をねらいとしたのこぎり指導を取り入れた、「ランプシェード」を製作題材として授業実践をしました。子どもがのこぎりの扱い方について学び、製作した土台を正確にきれいに仕上げることを通して、ものづくりに対する喜びや達成感を感じてもらいます。また、ものづくりによって子どもたちは、仲間と共に作業することや、時には失敗・試行錯誤を経験し、その中から主体性や協調性、計画性、実行力等、様々なことを学んでいきます。そして、図画工作科と技術科の接続を考える上で、子どもの学びを軸として教材の開発をおこなうことが、ものづくり教育の教材開発の基本であることを見出すことができました。この場をお借りして、御協力いただいた皆様方に厚くお礼を申し上げます。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 136 号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/> に掲載されています。

開館日程

2020年7月							2020年8月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4							1
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29
							30	31					

7/1 館内整理日

□ 9:00-21:00

■ 9:00-17:00

■ 休館(CLOSED)

8/3-8/7 前期末試験

8/8-9/30 夏季休業

8/13-8/14 夏季一斉休業

● 京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

● 携帯版 OPAC

(QRコード)

<https://tosh2.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>



京教図書館 News No.238 (2020年7月号)

発行日:2020年7月1日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp

国立大学法人
京都教育大学
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION